

2023 年度卒業生学修成果アンケート報告

教学部

2024 年 3 月学位記授与の日に、2023 年度卒業生を対象として大学での学修成果に関するアンケート調査を行った。対象となる学生数は 212 名、アンケート回収数は 92、回収率は 43.4%（前年度 86.8%）であった。アンケートは Web 上の回答フォームで実施され、学部別式典後に卒業生に回答を依頼した。アンケート実施について卒業生への周知が不十分であり、前年度を大きく下回る回答率となった

1. 質問項目

アンケートでは、以下の 12 の能力に関して、学生自身が、大学での授業および活動を通じてどの程度身につけていたと考えるか、ということを探ねた。

- ①人間の文化や社会、および自然に関する幅広い知識・理解
- ②専門的な知識・技能
- ③ICT 能力（パソコン等を用いて、情報を収集・分析する能力）
- ④コミュニケーション能力（意思疎通、協調性、自己表現能力）
- ⑤外国語能力
- ⑥物事を論理的に考える力
- ⑦文章を作成する力
- ⑧プレゼンテーションをする力
- ⑨グローバルな視点から物事を把握しようとする態度
- ⑩社会への奉仕の精神、および人を思いやる心
- ⑪自らが有する知識・技能・態度等を総合的に活用して課題を解決する能力
- ⑫社会的、職業的に自立して生きていくための就業力

これらの能力の多くは本学のディプロマ・ポリシーで挙げられているものであり、①②は、ディプロマ・ポリシー「1. 知識・技能」、③④は「2. 技能」、⑨⑩は「3. 態度・志向性」、⑪は「4. 総合的な学習経験と創造的思考力」に対応している。それ以外の⑤⑥⑦⑧⑫は、一般に、大学教育で修得、向上が目指されるべきと考えられる能力である。

回答選択肢は、「とても身についた」「ある程度身についた」「あまり身につかなかった」「まったく身につかなかった」の 4 つとした。以下、「評価点」と呼ぶものは、それぞれを 3 点、2 点、1 点、0 点として算出した平均点である。

2. 全学のアンケート結果

全学で、「身についた」という評価が高かったのは、「①幅広い知識」（3 点満点中 2.46）および「②専門的な知識・技能」（2.46）であった。

相対的に評価が低かったのは、「⑤外国語能力」（1.73）であった。外国語能力についての評

価は、これまでのアンケート調査でも最低であり、本学における継続した改善課題といえる。

「③ICT 能力」を除く 11 項目で 2022 年度から評価値が低下しており、本学が提供する教育サービスに質的な劣化が認められた。全学平均評価点 2.37 は昨年度 (2.43) より低いものの、過去 8 年間 (2016 年度 2.18, 2017 年度 2.18, 2018 年度 2.10, 2019 年度 2.19, 2020 年度 2.26, 2021 年度 2.25, 2022 年度 2.43) を見渡すと上昇傾向が見られている。

3. 学科別のアンケート結果

学科別で見ると、最も評価が高いのは国際交流学科 (2.45) であり、次点は医療工学科 (2.42)、続いてトータルビューティ学科 (2.40) であった。ただし、医療工学科とトータルビューティ学科はサンプル数が少なく、回答に偏りがあると考えられる。3 学科とも⑤外国語能力を除く項目で 2 を超える評価となっており、バランスのよい学修成果が得られていることがわかる。特に国際交流学科とトータルビューティ学科では、すべての項目で 2 を超える評価値であり、教学面で比較的高い満足度が得られた。

評価点が低かったのは健康栄養学科 (2.12)、続いて心理臨床・子ども学科 (2.19) であった。健康栄養学科では 8 項目で 2 以下の低い結果が得られており、「③ICT 能力」で 2.0 を唯一下回った。

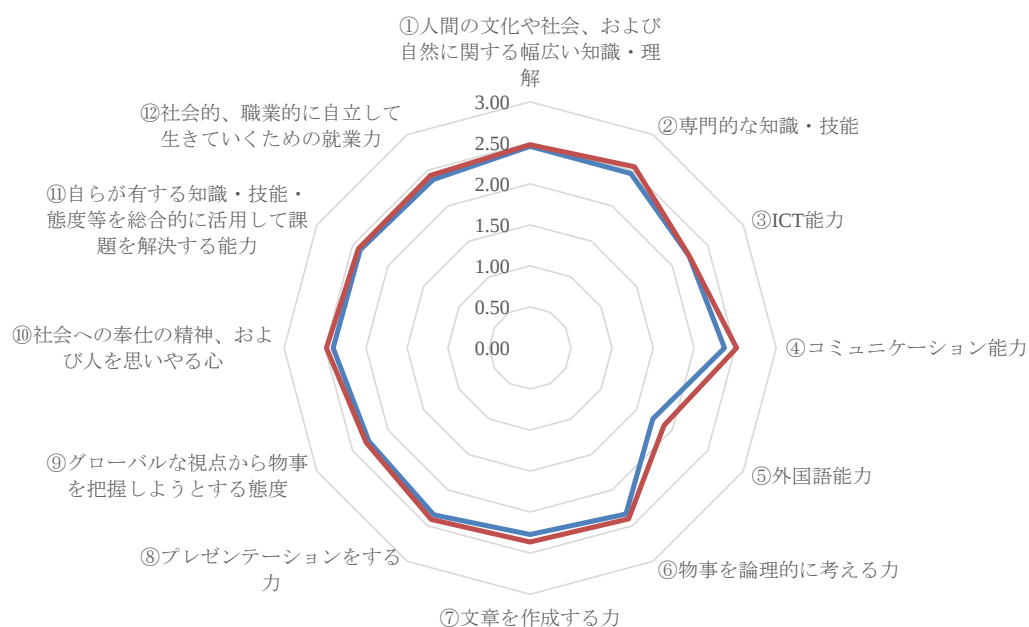
その他の学科のうち、スポーツ健康学科では「⑤外国語能力」(1.67) を除く 11 項目で 2 以上となっており、そのうち 6 項目 2.5 を超える高い評価値となった。

アート・デザイン学科ではすべての項目が 2 付近に得点が集中したものの、「⑤外国語能力」(1.59) は 3 番目に低い評価値となった。

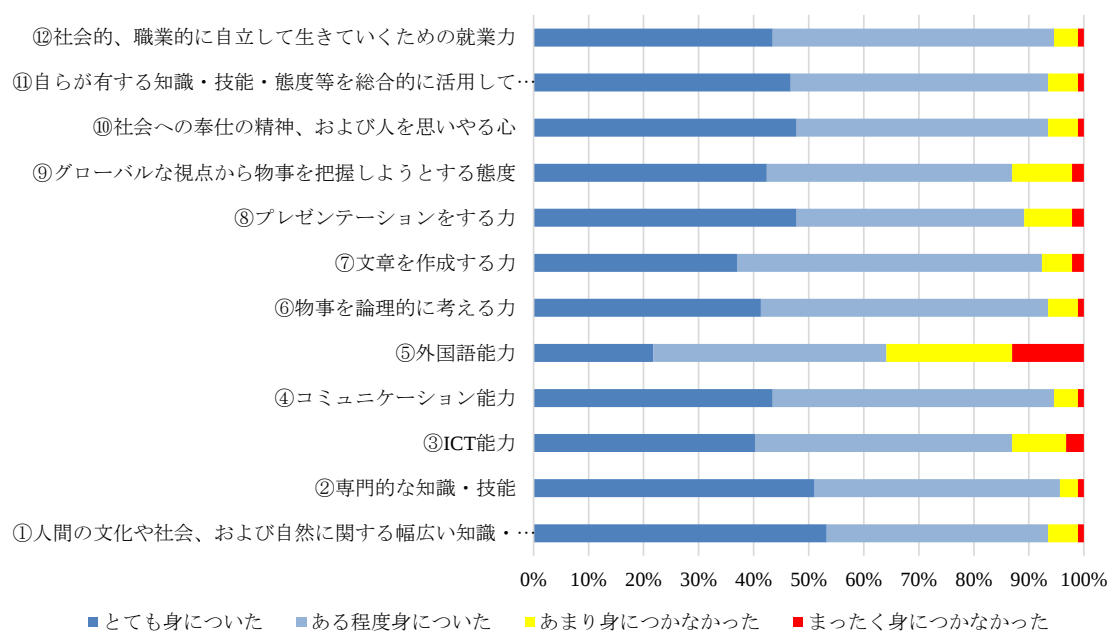
例年指摘されているとおり、専門的な知識や技能に偏って評価値が高い点が懸念される。「⑤外国語能力」に加えて、「③ICT 能力」では低評価の回答率が高く、今後の社会を生き抜くために必要な知識、能力をバランス良く身につけさせることが必要と考えられる。

全学評価点

— 2023年度 — 2022年度



全学回答比率



	心理臨床 (8名)	国際交流 (18名)	スポーツ (24名)	医療工 (4名)	健康栄養 (15名)	アート (17名)	TB (6名)	全学 (92名)
①人間の文化や社会、および自然に関する幅広い知識・理解	2.25	2.50	2.58	2.75	2.20	2.41	2.67	2.48
②専門的な知識・技能	2.38	2.44	2.54	2.75	2.20	2.53	2.50	2.55
③ICT能力	2.13	2.50	2.33	2.50	1.80	2.24	2.17	2.24
④コミュニケーション能力	2.25	2.50	2.50	2.50	2.20	2.12	2.67	2.52
⑤外国語能力	1.63	2.22	1.67	1.25	1.47	1.59	2.00	1.89
⑥物事を論理的に考える力	2.13	2.50	2.38	2.50	2.27	2.18	2.50	2.40
⑦文章を作成する力	2.13	2.33	2.38	2.50	2.20	2.18	2.17	2.36
⑧プレゼンテーションをする力	2.50	2.39	2.50	2.50	2.20	2.18	2.17	2.41
⑨グローバルな視点から物事を把握しようとする態度	2.13	2.56	2.21	2.25	2.13	2.24	2.33	2.31
⑩社会への奉仕の精神、および人を思いやる心	2.13	2.50	2.50	2.50	2.27	2.29	2.67	2.48
⑪自らが有する知識・技能・態度等を総合的に活用して課題を解決する能力	2.25	2.44	2.54	2.50	2.20	2.29	2.50	2.42
⑫社会的、職業的に自立して生きていくための就業力	2.38	2.50	2.46	2.50	2.27	2.12	2.50	2.43
平均点	2.19	2.45	2.38	2.42	2.12	2.20	2.40	2.37

学科別低評価割合 ※「あまり身につかなかった」「まったく身につかなかった」の割合

	心理臨床 (8名)	国際交流 (18名)	スポーツ (24名)	医療工 (4名)	健康栄養 (15名)	アート (17名)	TB (6名)	全学 (92名)
①人間の文化や社会、および自然に関する幅広い知識・理解	0.0%	4.2%	0.0%	0.0%	20.0%	5.6%	12.5%	6.5%
②専門的な知識・技能	0.0%	4.2%	0.0%	0.0%	13.3%	5.6%	0.0%	4.3%
③ICT能力	5.9%	8.3%	16.7%	0.0%	40.0%	5.6%	12.5%	13.0%
④コミュニケーション能力	11.8%	4.2%	0.0%	0.0%	13.3%	0.0%	0.0%	5.4%
⑤外国語能力	47.1%	41.7%	33.3%	75.0%	40.0%	5.6%	37.5%	35.9%
⑥物事を論理的に考える力	11.8%	4.2%	0.0%	0.0%	6.7%	5.6%	12.5%	6.5%
⑦文章を作成する力	0.0%	8.3%	16.7%	0.0%	20.0%	5.6%	0.0%	7.6%
⑧プレゼンテーションをする力	5.9%	8.3%	16.7%	0.0%	26.7%	5.6%	12.5%	10.9%
⑨グローバルな視点から物事を把握しようとする態度	11.8%	16.7%	16.7%	25.0%	13.3%	0.0%	25.0%	13.0%
⑩社会への奉仕の精神、および人を思いやる心	5.9%	4.2%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	12.5%	6.5%
⑪自らが有する知識・技能・態度等を総合的に活用して課題を解決する能力	11.8%	4.2%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	6.5%
⑫社会的、職業的に自立して生きていくための就業力	5.9%	8.3%	0.0%	0.0%	13.3%	0.0%	0.0%	5.4%